

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 一の宮の里

作成日: 令和 6 年 6 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	41	食事を楽しむことの出来る支援	栄養バランスの取れた配食サービスを利用しているが、味や彩り、盛り付けに工夫し、試食した職員が検食簿を丁寧に記録し、検食会議を毎月業者も交えて行い、利用者が楽しめるような料理の提供を目指していく。	月に1回は調理やおやつのレクリエーションに取り組み、楽しみながら職員と利用者が料理作りに挑戦し、利用者の健康増進に取り組んでいく。	12ヶ月
2	5	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナ5類移行に伴ない、2ヶ月毎に定期的に開催しているが、参加メンバーが固定化し、内容も報告が中心になっているので、会議の内容や進め方を検討し、参加委員にとっても知識や情報を得る貴重な会議になる様に取り組んでいく。	コロナ状況を判断しながら薬剤師、公民館館長、他グループホーム管理者、元家族、地域で活動している知見者等に参加を要請し、ホームの問題だけでなく、地域の身近な課題についても話し合い、地域密着型グループホームとして地域福祉の拠点となるような会議運営を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。